

令和2年度パネル展(会期：令和2年6月16日(火)～9月13日(日))



邪馬台国への道（前編）

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 邪馬台国への道

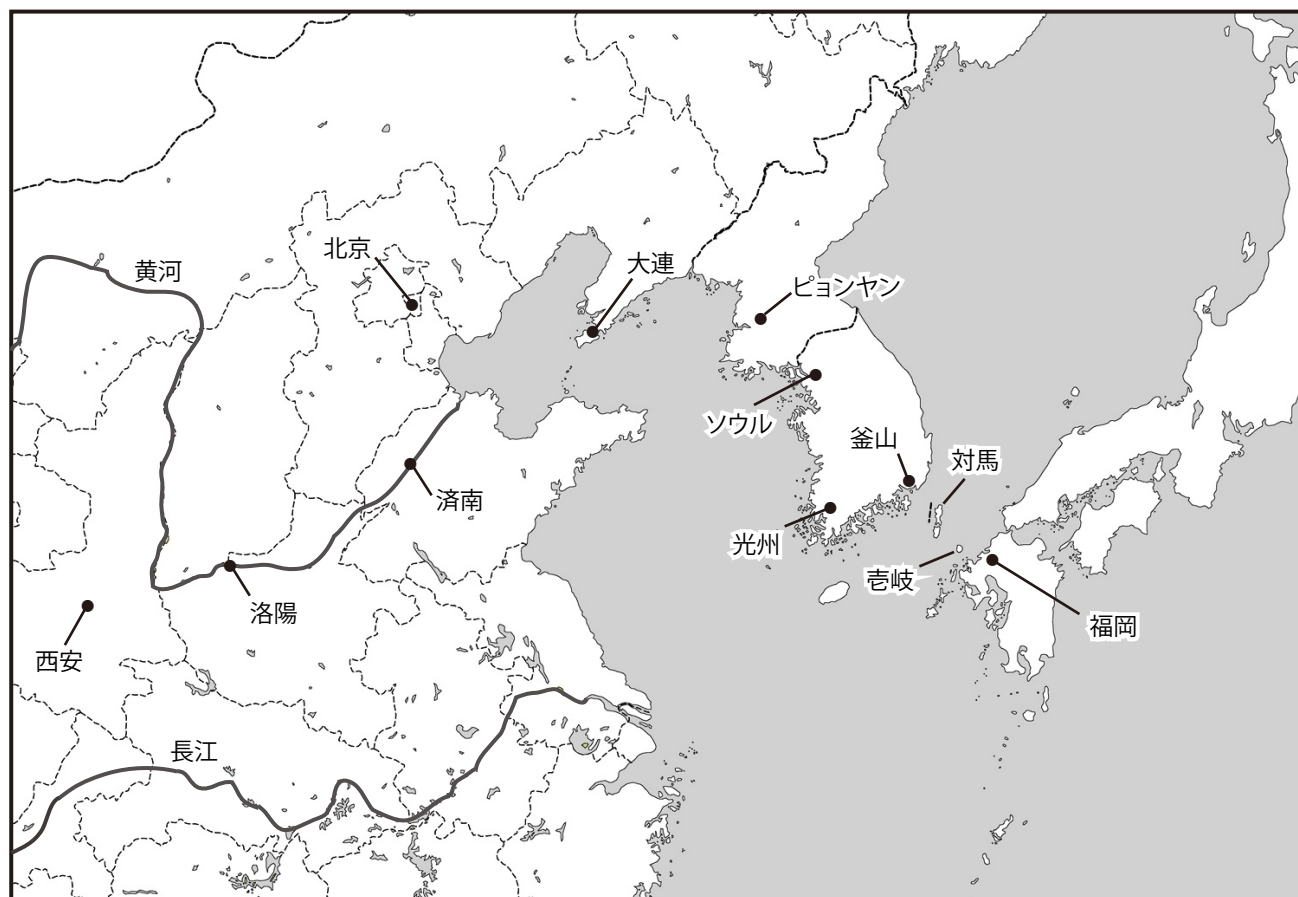
邪馬台国は弥生時代、当時は倭国と呼ばれていた日本列島に存在したクニ(国)の一つです。古代中国の史書である『魏志』倭人伝に記録されており、女王卑弥呼が統治したことで広く知られています。邪馬台国の所在地については諸説ありますが、『魏志』倭人伝に登場する中国(魏)から邪馬台国への道沿いの国々の中には、所在が九州に比定されているものもあります。これらの国々については発掘調査が進められ、多くの調査成果が挙げられてきました。

本展では、邪馬台国が使節を派遣した、古代中国の王朝・魏の都が置かれていた洛陽から、邪馬台国へ向かう道に沿って残された遺跡について、2回シリーズでご紹介します。

2 洛陽から帯方郡へ

洛陽は黄河の南岸に位置します。現在の河南省洛陽市の郊外には、かつての都城(漢魏洛陽城)の遺跡が残され、周囲には版築技法で築かれた城壁が巡っていました。土塁が巡る王宮もあり、内部では正殿に当たる太極殿が発掘されています。発掘では後代の版築基壇の下層に、魏の時代の基壇も確認されました。

洛陽を出発して現在の中国国内を通過し、朝鮮半島に入ると帯方郡に至ります。帯方郡は、魏の前の王朝である後漢が、楽浪郡の一部を分割して置いた郡です。魏の時代にも存続し、倭国との交渉窓口になっていました。帯方郡の役所については、北朝鮮のピョンヤンの南にある城郭遺跡・智塔里土城や、韓国ソウルにある城郭遺跡・風納土城が、有力候補地となっています。



邪馬台国への道が延びていた東アジア

3 原三国時代の朝鮮半島南部

邪馬台国があった頃、朝鮮半島南部は馬韓・弁韓・辰韓の3つの地域に50余りの国々が分立する、原三国(三韓)時代を迎えていました。この原三国時代の遺跡からは、邪馬台国と同じ頃の遺構や、日本列島との交流を示す遺物なども見つかっています。

韓国の西南部、全羅北道咸平郡では、馬韓の土器窯跡が発掘されました。ここで焼成されたような馬韓の土器は、北部九州を中心に西日本でも見つかっています。同じく韓国西南部、光州広域市の^{しんしょうどう いせき}新昌洞遺跡^{シンチャンドンユジョク}も、馬韓の遺跡です。この遺跡からは水田遺構が検出され、木製品や稲粳が出土しましたが、稲粳の品種は全てジャポニカ(日本型)のものでした。

また釜山に近い金海市付近は、『魏志』にも登場する弁韓12国の一つ、^{りょうどう り い せき}狗邪国^{コジャク}の地と考えられています。この金海市にある^{ヤンドンニ ユジョク}良洞里遺跡は、弁韓・狗邪国時代の墓地なども見つかった遺跡で、その一つ162号木棺墓からは、北部九州・奴国の製品と思われる鏡も出土しています。

この付近から、邪馬台国への道は対馬・壱岐を経て九州へ向かいます。ちなみに1975年(昭和50)には、日韓両国の専門家からなる研究会が、魏使がたどった航路の実験航海を行いました。古代の船を推定復元した「野性号」という船で、韓国の仁川港から福岡市の志賀島港まで、47日間の船旅となりました。

4 対馬・壱岐から九州へ

いよいよ倭国の国々に入ります。最初の対馬国については『魏志』倭人伝に64文字の記事がありますが、考古資料からもその実像に迫ることができます。たとえば対馬島北端・比田勝港近くの塔ノ首3号石棺墓では、帯方郡系の土器や奴国産と思われる銅矛が見つかりました。『魏志』倭人伝にも記されていた対馬国の交易活動について、裏付けるかのような遺物です。

次に壱岐に渡りましょう。壱岐市の原の辻遺跡は、壱岐島最大の弥生時代遺跡で、『魏志』倭人伝に登場する一支国の国邑、つまり都の遺跡と考えられます。邪馬台国時代の国と国邑が特定できる唯一の遺跡です。この遺跡では、占いに用いた鹿などの肩甲骨・卜骨が多量に出土し、『魏志』倭人伝に記された骨を用いた占いの記事を想起させます。

さらに海を渡ると、九州本土です。玄界灘に面した佐賀県唐津市付近は、邪馬台国時代の^{まつら こく}末廬国^{マツラコク}の中心地と考えられています。末廬国の国邑については複数の候補がありますが、王墓は桜馬場遺跡と考えられます。桜馬場遺跡は1944年(昭和19)に防空壕を掘っている際に発見され、出土遺物の豪華さで弥生時代後期初の王墓として評価されました。後の再調査で、巴形銅器やガラス管玉などが追加発見されています。

(執筆:名誉館長 西谷 正)

(編集:学芸調査室 渡部邦昭)



原三国(三韓)時代馬韓の土器窯跡



良洞里162号木棺墓全景と遺物出土状況



古代推定復元船「野性号」の実験航海



対馬市の塔ノ首3号石棺墓



原の辻遺跡



編集

発行: 令和2年6月18日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>